

こころの和と輪

診療案内

診療科目
精神科・心療内科

診察時間
月～金 9:00～12:30
火・木 13:30～17:00

休診日
土・日・祝祭日・年末年始



北海道立向陽ヶ丘病院

<https://kouyougaoka.hospital.pref.hokkaido.lg.jp/>

〒093-0084 北海道網走市向陽ヶ丘 1-5-1

TEL0152-43-4138(代) FAX0152-43-4365

こころの健康を支える 地域医療の展望



高齢化による認知症やうつ病の増加に加え、若い世代における孤立感や不安の深刻化も見逃ごせない問題です。

当院では、こうした多様な課題に対応するため、地域に根差した精神



当院は、認知症や高齢者のメンタルヘルスケアを軸とした取り組みをさらに深化させるとともに、若い世代への支援や予防的なケアの普及にも力を注ぎます。世代を超えた相互理解を深め、地域全体で支え合える社会に貢献することが目標です。

また、訪問看護や遠隔支援を活用した新しい形の医療提供についても模索し、地域医療の未来を切り拓いてまいります。



本年も、地域の皆さまとのつながりを大切に、こころの健康を支える存在であり続けるよう、スタッフ一同努力を惜しみません。

どうぞ引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

皆さまには日頃より当院の活動に温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

令和七年が皆さまにとって健康と希望に満ちた一年となりますようお祈り申し上げます。

現在のオホーツク管内は、国内の他地域にも増して人口減少と高齢化という大きな課題に直面しています。これに加えて、COVID-19 後の社会環境の変化は、人々の生活や心の健康にさまざまな形で影響を及ぼしています。

科医療の充実に向けております。

高齢化が進む中で、精神科医療における課題は多岐にわたります。患者さまが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、当院では医療のみならず、地域包括ケアとの連携を強化しています。

また、人口減少に伴う地域資源の限界が見える中で、医療と福祉を結ぶ役割を果たすことが、これからの私たちの重要な使命と考えております。



院長 藤井 泰

ぜひ一度、使ってみませんか？ マイナンバーカードの保険証利用

マイナ保険証



- 健康保険証利用登録をしたマイナンバーカードが、**マイナ保険証**です。利用登録は、医療機関・薬局の受付窓口にある顔認証付きカードリーダーなどで簡単にできます。
- マイナ保険証を利用する際は、**マイナンバーカードの電子証明書の有効期限**※にご注意ください。

※マイナンバーカードの有効期限は10年(未成年者は5年)ですが、カードに格納されている電子証明書の有効期限は5年です。

データに基づくより良い医療が受けられる



薬剤情報等の提供に同意をすると、おくすり手帳を見せなくても過去に処方されたお薬や特定健診などの情報を初診でも医師・薬剤師にスムーズに共有できます。

手続きなしで高額療養費の限度額を超える支払いが免除される



マイナンバーカードで資格確認をおこなうため、紙の認定証の持参なし＆手続きなしで高額療養費の限度額を超える支払いが免除になります。

カードセット手順

- ① スタートボタンを押してください

スタート

スタートボタンを押す
- ② 北海道立向陽ヶ丘病院

スタートボタンを押してください

スタート

カードを奥まで押し当てるように挿入する
- ③ 本人確認の方法を選んでください
本人情報は目的外に使用しません

顔認証を行う
暗証番号を入力
終了する

顔認証か暗証番号かを選択し押す
- ④ 顔を枠に合わせてください

顔認証の場合は、顔を正面に向ける。暗証番号の場合は、番号を入力する
- ⑤ 過去の医療情報等の提供に同意しますか。
【診療、お薬/健診】

全て同意する
個別に同意する

提供に同意する場合は「全て同意」個別に同意の場合は「個別に同意」を押す
- ⑥ 3030 3030 様
確認が完了しました。
終了する場合はマイナンバーカードを取り出し、待合室でお待ちください

終了する

マイナンバーカードを取り出し終了する

※わからないことがありましたら担当職員にお聞き下さい

病棟クリスマス会



去る12月25日に病棟クリスマス会を開催しました。

医師をはじめ病院職員が演奏や仮装をしてクリスマスソングと一緒に歌い、タンバリンや鈴の音を奏で、楽しいひとときを過ごしました。

「認知症治療の新たな夜明け？」

一昨年の年末くらいに「アルツハイマー型認知症の新薬」に関するニュースが、若干世間を賑わせたことを覚えていますでしょうか。

当時医療関係者の間でも様々な意見が交わされました。

しかし「疾患修飾薬」「画期的な新薬」という言葉ばかりが先行して、「結局なにがいままでの薬と違うのか？」という点についてはわかりづらい部分も多かったかと思えます。



何が違うの？

りが先行して、「結局なにがいままでの薬と違うのか？」という点についてはわかりづらい部分も多かったかと思えます。

実は、これまで認知症には「脳の中で認知症を起こしている仕組みそのもの」を改善するための治療薬がありませんでした。アリセプト（ドネペジル）、レミニール（ガラタミン）、メマリー（メマンチン）などの薬を以前から聞いたことがある

方、使ったことがある方もいらっしゃると思いますが、これらは全て「認知症によって引き起こされる精神症状（主に記憶障害）の進行を対症療法的に抑える」薬であって、作用している場所はそのもその認知症の原因とは関係のないものでした。



とはいえ、認知症の原因物質に作用できるからといって、全ての問題が解決するわけではありません。

認知症のしくみはまだ解明されていない部分が多く、実際にはこのしくみにもとづいて薬を作っても認知症の進行を止めることができないことが、研究者にとって長年の悩みでした。

今回初めてこのしくみにもとづいて**実際に認知症の進行を抑制できる薬**が登場し、画期的な新薬ということで話題になったわけです。

実際には一昨年発売されたレケンビ（レカネマブ）も、去年発売されたケサンラ（ドナネ



マブ）も認知症を「治す」までの効果は確認されておらず、今のところ確認されているのは「認知症初期の方の」**「進行をわずかに遅らせる」**だけです。

また、全ての認知症に対して効果があるわけではなく、あくまで「初期の」「アルツハイマー病による認知症」の症状に対してしか効果はなく、

まだまだこの分野の治療や研究には、課題が山積されています。当院では施設基準の関係でレケンビ・ケサンラの治療導入はできないのですが、可能な機関に紹介することはできます。

興味のある方はお尋ねください。

ひしやま 菱山 医師



ひしやま 菱山 医師

写真のヒント ↓ パンフレット棚右端にある盲導犬「ミーナ」・ 外来職員呼び出しベル・ 床案内表示下から目線の写真・ 会計の老眼鏡・ 自動血圧計

デイケア集団栄養指導



デイケアのプログラムの一環として、月に1回、月末の木曜日に「食と健康の講座」を行っています。

月ごとにテーマは異なり、生活習慣病（高血圧や中性脂肪について等）を予防するための食事や、季節に合わせた

内容です。

12月は年末年始の食事についてお話ししました。講座の最後には、テーマの内容に合わせたクイズを行い、楽しみながら理解を深めてもらえるようにしています。

希望される方には、講座終了後に体重や体脂肪・筋肉測定を行っています。測定することで、自分の身体の変化にも気づくことが出来るかもしれません。

さがみ 管理栄養士 坂上



外来待合にある風景???



名前は「ミーナ」



不在の時は……



下から目線で見てみれば… 違った景色が見えてくる…

見方が変われば、見え方も変わってくる…

60才代が「強」で 40才代が「弱」??

強	中	弱
60才代	50才代 (黄)	40才代 (赤)

「健太郎」ってだれ?

健太郎 正しい

測定の前に 今日安定してるかな…

服装 連手のシャツ

写真の場所

みつかりましたか?

(※ヒントは右端縦書き)→

編集後記 「今年は雪が少ないな」と思っていたら、帳尻を合わせるように1月中旬から降ってきた雪。ついにこの時期が来てしまったかとあきらめ雪かきです。スコップに載せる雪は重く、ツルツと

滑ることもあり。転倒と腰痛出現に注意が必要です。街中には、観光の人たちが多くなっている今日この頃。流水が待ち遠しい時期となりました。寒さが一段と厳しくはなりますが、美味し

い恵みも与えてくれます。その先のポカポカな春も待ちわびながら、今年も仕事に励んでいこうと思います。今年も引き続きよろしくお願いいたします (N)。

